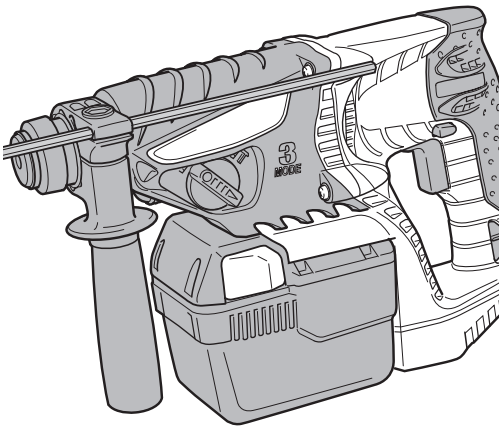
Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

用途
●コンクリートの穴あけ
●アンカー下穴の穴あけ
●コンクリートのハツリ、破砕、
溝掘り、角出し、切断、はがし

日立コードレスロータリハンマドリル
26 mm DH 25DAL　DH 36DAL

このたびは日立コードレスロータリハンマドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



DH 36DAL

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意 …1
本製品の使用上のご注意 ……5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…6
各部の名称 ……8
仕様 ……9
各種先端工具 ……10

使い方

充電する ……11
工具の取付け・取りはずし ……13
回転方向の切替え方 ……14
デプスゲージの使い方 ……14
作業モードの設定 ……15
POWERﾓｰﾄﾞとSAVEﾓｰﾄﾞについて …16
スリップクラッチ機構について …16
回転+打撃モードを使う…17
回転モードを使う ……19
打撃モードを使う ……21

その他

保守・点検 ……22
ご修理のときは……裏表紙

HITACHI

⚠警告、⚠注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
  異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0 ℃未満、または温度が 40 ℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠警告

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
  感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
  暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
  爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
  切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
  手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
  固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。
- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の人は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスロータリハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
- 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

② **使用中、振り回されないようにサイドハンドルを付け、工具本体を両手で確実に保持してください。**
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

③ **使用中は、工具類や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。**
- けがの原因になります。

④ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑤ **誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑥ **シリカや石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。**

⚠注意

① **工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
- 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

③ **騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。**

④ **作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。**

⑤ **作業直後の工具類は高温になっているので、触れないでください。**
- やけどの原因になります。

⑥ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。**
- 材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。

⚠注意

⑦ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- けがの原因になります。

⑧ **蓄電池は確実に取付けてください。**
- 確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

⑨ **蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。**

⑩ **蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。**

⑪ **蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。**

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。
本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなると（BSL 2530 の場合：電池電圧 14 Vまで低下、BSL 3626 の場合：電池電圧 20 Vまで低下）モーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。

② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。

再びご使用になれます。
さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

① **蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
- 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
- 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。

② **蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。**

⚠警告

③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
④ (+)(ー)を逆にして使用しないでください。
⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

⚠注意

① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
• 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
• 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。
なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。
当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。

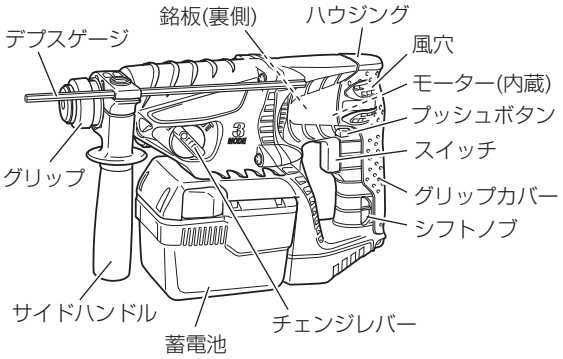
○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

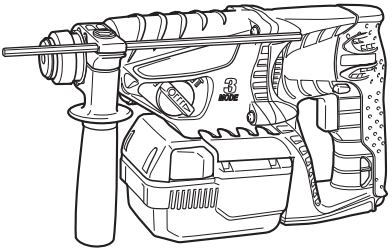
各部の名称

工具本体

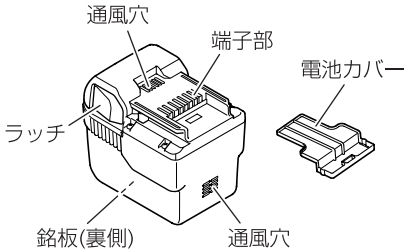
DH 36DAL



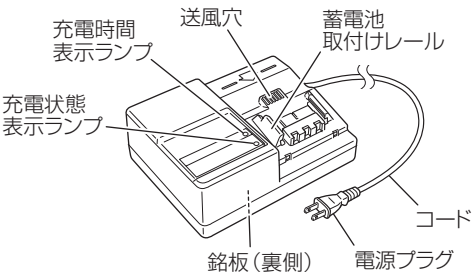
DH 25DAL



蓄電池



充電器



標 準 付 属 品

品名・形名 ＼ 工具本体 仕様		DH 25DAL		DH 36DAL	
		2SLCK	NN	2SLCK	NN
蓄電池	BSL 2530	2個(本体装着1、予備1)	—	—	—
	BSL 3626	—	—	2個(本体装着1、予備1)	—
充電器　UC 36YL2/UC 36YL		1台	—	1台	—
サイドハンドル		1個	1個	1個	1個
デプスゲージ		1個	1個	1個	1個
収納ケース		1個	—	1個	—
電池カバー		2個	—	2個	—

仕　様

1．工具本体仕様

形　名		DH 25DAL	DH 36DAL
能力	穴あけ	コンクリート(錐径)　26 mm 金　　属　(錐径)　13 mm 木　　材　(錐径)　30 mm	
	ねじ締め	木ねじ　呼び径 4.8 mm×長さ 25 mm	
無負荷回転数〔気温 20℃満充電時〕		パワーモード　0～1100 min^{-1} {回／分}	
		セーブモード　0～ 550 min^{-1} {回／分}	
全負荷打撃数〔気温 20℃満充電時〕		パワーモード　0～4500 min^{-1} {回／分}	
		セーブモード　0～2250 min^{-1} {回／分}	
モーター		直流モーター	
適用ビット		SDSプラスタイプ	
蓄電池		円筒密閉形リチウムイオン電池	
電池電圧		25. 2 V	36 V
質量		3.6 kg (BSL 2530装着時)	4.0 kg (BSL 3626装着時)
振動 3 軸合成値 ※1		回転＋打撃　16.7 m/s^2 ※2 打撃　11.8 m/s^2 ※2	回転＋打撃　18.6 m/s^2 ※2 打撃　12.5 m/s^2 ※2

※1：振動 3 軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値）については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト：http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html
をご参照ください。

※2：振動 3 軸合成値は、EN60745－2－6 規格に基づき測定しています。

2．充電器仕様

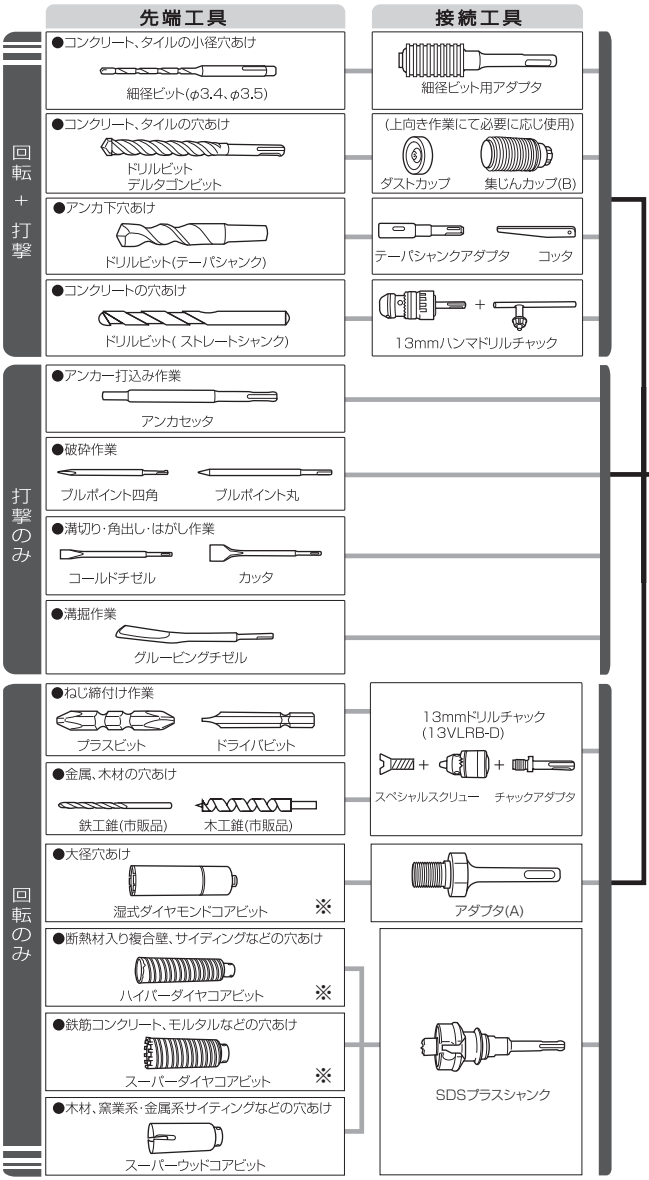
形　名	UC 36YL2 ／ UC 36YL
入力電源	単相交流　50 ／ 60Hz 共用　　電圧　100 V
充電時間（気温 20℃時）	BSL 2530 …… 約 30 分 BSL 3626 …… 約 25 分
充電電圧	36 V
充電電流	6.0 A
コード	2 心ビニールコード
質量	1.3 kg
使用温度範囲	0℃～40℃
冷却	対応（ファン付き）

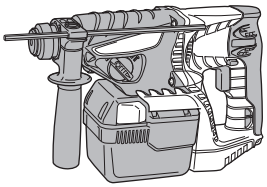
3．蓄電池仕様

形　名	容　量	冷　却
BSL 2530	3.0 Ah {3000 mAh}	対応
BSL 3626	2.6 Ah {2600 mAh}	対応

各種先端工具

用途に応じた先端工具（アタッチメント）をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。





●電動工具用集じん機

この製品は電動工具用集じん機に接続して使用できますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

※ダイヤモンドコアビットご使用の場合、本体の温度上昇が高くなり連続的な穴あけ作業はできません。
連続使用 15 分につき 30 分程度休ませてからご使用ください。

充電する

ご使用の前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、
残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

⚠警告

・手順 ❶ 、❷ については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

1 電源を確認する

●この充電器は交流100V用です。
200V電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源やエンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

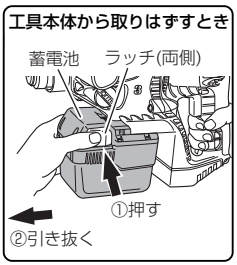
2 コンセントを確認する

●コンセントがガタついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

●充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P12 充電ランプの表示について参照)

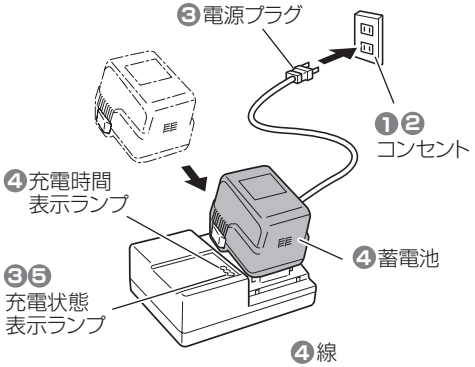
4 蓄電池を充電器にさし込む

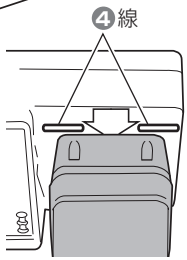


●蓄電池を右図に示す線が見えるまでしっかりとさし込んでください。
●充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤／橙／緑のいずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

5 充電が終わったら

●充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と 6 秒鳴ってお知らせします。
●電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。





充電時間
(蓄電池形名)
BSL2530：約30分
BSL3626：約25分

注 ・充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間表示ランプ	赤点灯	連続点灯	充電完了まで約 30分
	橙点灯	連続点灯	充電完了まで約 20分
	緑点灯	連続点灯	充電完了まで約　5分
	赤点滅	0.3秒点灯／0.3秒消灯	蓄電池の温度が高くて充電できません。（温度が下がると自動的に充電を開始します。）
充電状態表示ランプ	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯	電源にさし込んだ状態
	赤点灯（UC 36YL2のみ）	連続点灯	充電中
	緑点灯	連続点灯	充電完了
	橙の速い点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯	充電器または蓄電池に異常あります。（下記参照）

注
- **UC 36YLは充電中に充電状態表示ランプが点灯しません。**
- **橙の速い点滅（0.1 秒点灯／0.1 秒消灯）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 2 秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取り除いてください。**
  異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
- **一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。**
  同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- **工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。**
  すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- **工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。**
  無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- **正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。**
  寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

●1回の充電であけられる穴の数は（参考値）

ビット外径（mm）	深さ（mm）	DH 25DAL	DH 36DAL
6.5	60	115	160
8.5		70	90
12.5		55	65
14.5		45	55
18		25	40
24		12	16
26		7	8

穴あけ数は、コンクリートの状態やビットの切れ味などの違いで異なりますので左表は参考としてください。

穴あけ作業中、電池がなくなった場合は、予備の蓄電池を用意されると便利です。

工具の取付け・取りはずし

⚠警告

工具の取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠注意

工具は当社指定の別売部品を使用してください。
(P10「各種先端工具」参照)

この機体の工具取付け部はSDS-プラスシャンク品専用となっております。SDSーブラスシャンクの先端工具または各種アダプタを使用してください。

1 工具のシャンク部をきれいに拭きます。

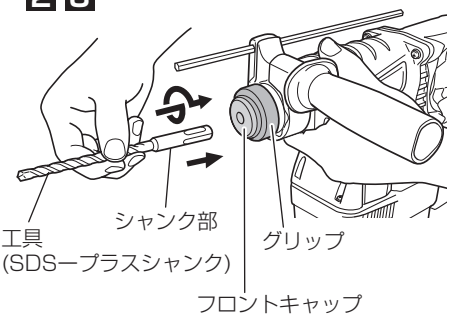
2 工具をフロントキャップの穴に奥に突き当たるまでさし込みます。

3 工具を軽く押しながら回していくと、ひっかかりのある箇所が確認できます。
その箇所で、工具を矢印方向へ奥に突き当たるまで押し込みます。

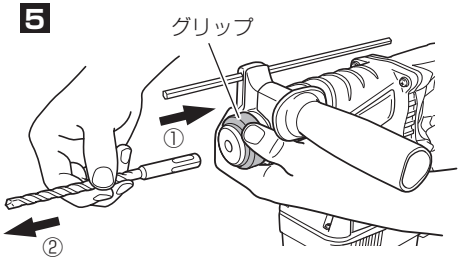
4 確実に工具が固定されたか、工具を引いて確認します。

5 工具を取りはずすときは、グリップを矢印方向へ一杯に引き、工具を引き抜きます。

2 **3**



5

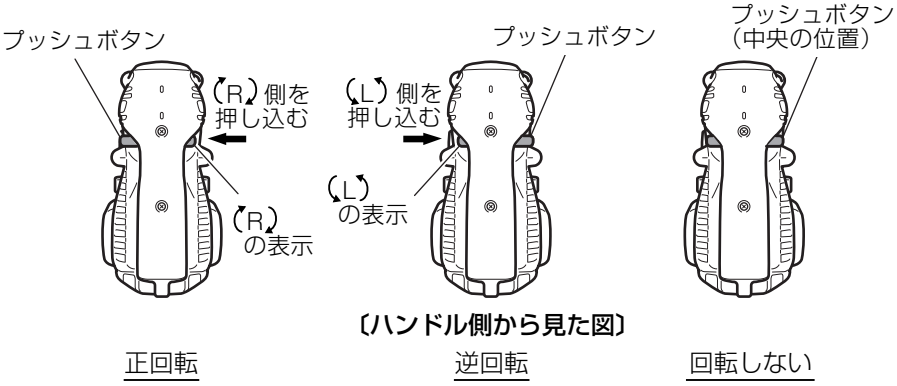


回転方向の切替え方

プッシュボタンの〔R〕側を押すと先端工具はハンドル側から見て右に回り（正回転）、〔L〕側を押すと左に回ります（逆回転）。

また、プッシュボタンを〔R〕側と〔L〕側の中央の位置にしますと、スイッチを入れてもモーターは回転しません。

（〔R〕〔L〕は、外枠に表示してあります。）



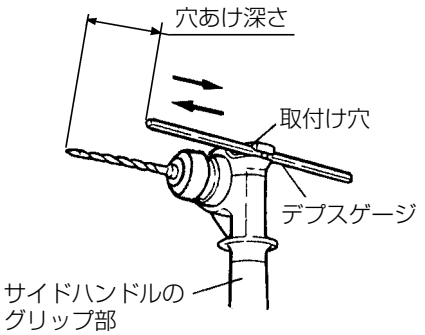
注
- 運転中はプッシュボタンの切替えができません。切替える場合は、必ずスイッチを切ってから操作してください。
- 穴あけ時に〔L〕側（逆回転）で使用すると、能率が悪いばかりでなく蓄電池の消耗も早めるので、作業前に必ずプッシュボタンの〔R〕側を押していることを確認してください。

デプスゲージの使い方

付属のデプスゲージは穴あけ深さの調整に用いるものです。同じ深さの穴を連続してあける場合は、能率が上がり、穴の深さが正確になります。

1 サイドハンドルのグリップ部を回してゆるめ、サイドハンドルの取付け穴にデプスゲージを通します。

2 穴あけ深さに応じてデプスゲージの位置を調整し、サイドハンドルのグリップ部を回してしっかりと固定します。

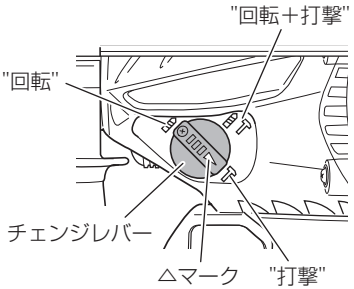


作業モードの設定

⚠注意

- **モーター停止時にチェンジレバーを操作してください。**
  モーターの回転中に切替えると、不意に工具が回り、思わぬ事故の原因になります。
- **ハツリ・破砕用工具などは必ず "打撃" の位置で使用してください。**
  "回転＋打撃" の位置で使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

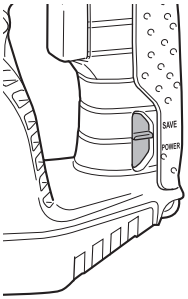
チェンジレバーを回すことにより"打撃" 、"回転＋打撃" 、"回転" の 3 つのモードに切替えることができます。
作業モードの設定は、チェンジレバーを回して△マークを使用するモードの位置に合わせます。



マーク ── " 回転 " モード
マーク ── " 回転＋打撃 " モード
マーク ── " 打撃 " モード

注
- **"回転" でする作業を "回転＋打撃" の状態で行うと穴あけ能率が上がらないばかりでなくドリルを傷めるので、十分注意してください。**
- **ねじを締付ける場合は必ず "回転" の状態で行ってください。**
- **"打撃" でする作業の場合は、必ずプッシュボタンを正回転の（R）側に切り替えてください。**

POWERモードとSAVEモードについて



図のようにシフトノブを操作することで、打撃力の強弱を選ぶことができます。用途に応じて、チェンジレバーの切替えと合わせてご使用ください。

チェンジレバー / シフトノブ	" 回転＋打撃 "	" 回転 "	" 打撃 "
" POWER " モード（強い打撃力）	〈コンクリート穴あけ〉ハイパワーでφ5 mm以上の穴あけに適しています。（穴あけスピードが速く、効率の良い作業ができます）	〈木工・金工穴あけ〉高速・ハイパワーで木工・金工の穴あけに適しています。	〈コンクリート破砕〉ハイパワーでコンクリート等の硬い材料の破砕に適しています。
" SAVE " モード（弱い打撃力）	〈コンクリート穴あけ〉モーターパワーを抑え、φ4.8 mm以下の穴あけに適しています。（ビットの折損を防ぐことができます）	〈使用できません〉モーターパワーを抑えていますので高負荷作業には適していません。 **注 モーターが故障する恐れがありますので使用しないでください。**	〈ブロック破砕〉モーターパワーを抑え、ブロック、レンガ等のもろい材料の破砕ができます。

スリップクラッチ機構について

この機構は、作業中の本体に急激に大きな負荷がかかったとき、モーターとビットの間の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力がかかることを防止します。

注 スリップクラッチが作動し、ビットの回転が停止した場合には、すみやかにスイッチを切ってください。

回転＋打撃モードを使う

⚠警告

- 工具・デプスゲージの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- サイドハンドルとハンドルをしっかり握って作業してください。
  工具が鉄筋などに当たると急に止まり、その反動で機体が回ろうとします。

⚠注意

- 作業の際、機体を無理に押しつけないでください。
  先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。

1 工具を取付ける

●P13「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

2 必要に応じてデプスゲージを取付ける

(P14「デプスゲージの使い方」参照)

3 作業モードを"回転＋打撃"に切替える

●チェンジレバーを に合わせます。
(P15「作業モードの設定」参照)

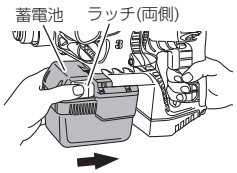
4 プッシュボタンを(R)側から押す

●中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。

(P14「回転方向の切替え方」参照)

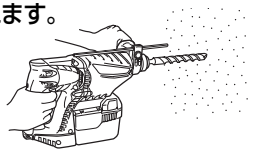
5 蓄電池を取付ける

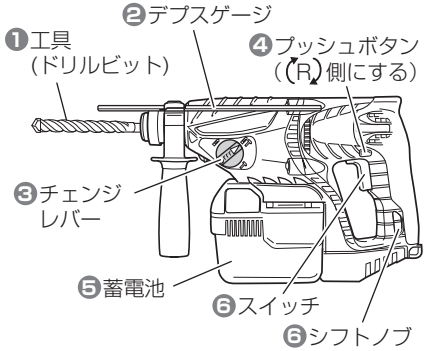
●右図に示す向きで「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



6 スイッチを入れる

●作業に応じてシフトノブをPOWER、SAVEに切替えてください。
(P16「POWERモードとSAVEモードについて」参照)
●穴あけ位置に工具の先を当ててからスイッチを入れます。





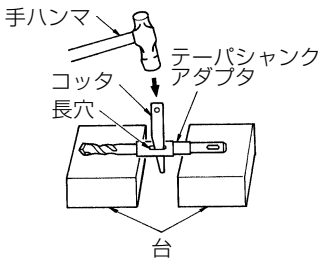
●テーパシャンクアダプタ(別売部品)の使い方

別売部品のテーパシャンクアダプタを取付けますとテーパシャンクタイプのドリルビットをご使用になれます。

テーパシャンクアダプタをP13の「工具の取付け・取りはずし」と同じ要領で取付けます。

次に、ドリルビットをテーパシャンクアダプタにさし込んで使用します。

ドリルビットをテーパシャンクアダプタから取りはずときは、右図のようにテーパシャンクアダプタの長穴部分にコッタを入れ、コッタの頭を手ハンマでたたいてはずします。

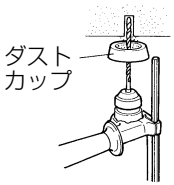


●ダストカップ、集じんカップ(B)(別売部品)の使い方

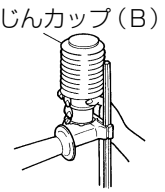
上向き作業をする場合は、ダストカップまたは集じんカップ(B)を取付けますと、切粉の落下が少なく、作業がしやすくなります。

ダストカップは図のように、ドリルビットに取付けてご使用ください。

太径のドリルビットの場合は、ダストカップの中央の穴をドリルビットでひろげてご使用ください。



集じんカップ(B)を使用する場合は、ドリルビットを取付けた後、集じんカップ(B)を図のように先端から押し込んでください。



注 ・ダストカップおよび集じんカップ(B)は、コンクリートの穴あけ専用です。金属、木材の穴あけには、使用しないでください。
・集じんカップ(B)はフロントキャップに密着するよう十分に押し込んでください。
・集じんカップ(B)をコンクリート面からはなした状態でスイッチを入れると、集じんカップ(B)がドリルビットと一緒に回転してしまい、集じんカップ(B)がグリップ部からはずれることがあります。
必ずコンクリート面に押しつけてからスイッチを入れてください。
〔全長190㎜以上のドリルビットと共に集じんカップ(B)を使用すると、集じんカップ(B)がコンクリート面に接触せず、回転してしまいます。集じんカップ(B)は全長166㎜、160㎜、110㎜のドリルビット用として使用してください。〕
・粉じんは穴あけ2～3本ごとに捨ててください。
・ドリルビットの交換は集じんカップ(B)をはずしてから行ってください。

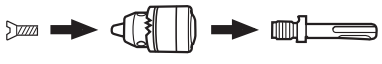
回転モードを使う

木材、金属の穴あけ
小ねじ、木ねじの締付け
(別売部品のドリルチャックアダプタセット使用)

⚠警告

- 工具やデプスゲージの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- 使用中、振り回されないように、サイドハンドルとハンドルをしっかり握って作業してください。

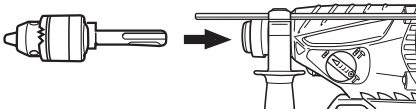
1 ドリルチャックにチャックアダプタを取付ける



スペシャルスクリュー　ドリルチャック　チャックアダプタ(SDSプラスシャンク)

2 機体にチャックアダプタを取付ける

●P13の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。



3 市販の錐(ドライバビット)をチャックハンドルを使ってドリルチャックに取付ける

チャックハンドル

4 必要に応じてデプスゲージを取付ける

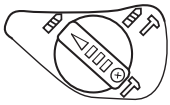
(P14「デプスゲージの使い方」参照)

5 プッシュボタン押して回転方向を合わせる

(P14「回転方向の切替え方」参照)

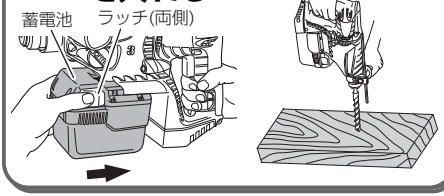
6 作業モードを "回転" に切替える

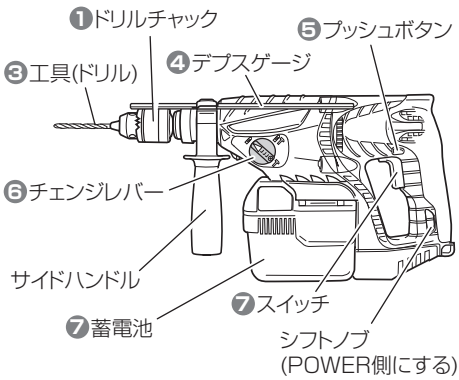
●チェンジレバーを に合わせます。
(P15の「作業モードの設定」参照)



注 ・チャックアダプタを使用して"回転＋打撃"の作業はしないでください。
・"回転"での作業のときは、シフトノブを"POWER"側にしてください。
故障の原因になります。

7 蓄電池を取付け、スイッチを入れる





⚠注意

- **作業の際、機体を無理に押しつけないでください。**
  先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。
- **穴の抜けぎわにドリルを折ることがありますので、穴の抜けぎわに機体を材料に押しつける力をゆるめてください。**

●木材に木ねじを締付ける

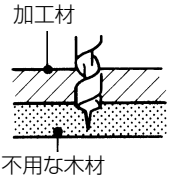
- ねじの径より少し細いドリルで下穴をあけておくと木材に割れが入ったりせず、作業がらくにできます。下表を参考にしてください。
  （できるだけプラス溝の木ねじをご使用ください）

木ねじ呼び径(mm)	3.1	3.5	3.8	4.1	4.5
下穴径(mm)	2.0 ～ 2.2	2.2 ～ 2.5	2.5 ～ 2.8	2.9 ～ 3.2	3.3 ～ 3.6

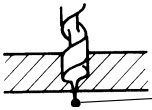
●木材にきれいな穴をあける

不用な木材を下に敷き、加工材と一緒にあける

●木工ドリルが裏側へ突きぬけるときに発生するバリを防ぐことができます。



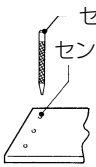
（または）
木工ドリルの先が少し裏側に出たときに、裏側から穴をあける



●金属へ上手に穴をあける

市販のセンタポンチを使用する

●鉄工ドリルの先がすべらず、決まった位置に穴あけができます。



鉄工ドリルの先に機械油か石けん水を付ける

●穴があけやすくなります。

注 金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわに大きな力がかかり、ドリルがキーレスチャックからすべることがあります。このような場合は、工具本体の押しつけ力を弱め、ドリルがすべらないようにしてください。

打撃モードを使う

コンクリートのハツリ・破砕・溝掘り・角出し・切断・はがし

⚠警告

- **工具やデプスゲージの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
- **ハツリ，破砕用工具などは必ず"打撃"の位置で使用してください。**

"回転＋打撃"、"回転"の位置で使用すると、工具が回り、思わぬ事故の原因になります。

⚠注意

- **作業の際、機体を無理に押しつけないでください。**

反動を押さえる程度に押しつけて作業してください。無理に突きさしたり、押さえつけても作業の効率はありません。

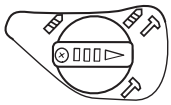
1 工具を取付ける

●P13の「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

2 工具の向きを決める

(ｺｰﾙﾄﾞﾁｾﾞﾙ・ｶｯﾀ等を使用する場合)

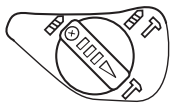
●チェンジレバーを操作し、右図のように と のほぼ中間に合わせます。



●工具を回し、作業に適した位置にセットします。

3 作業モードを"打撃"に切替える

●チェンジレバーを に合わせます。

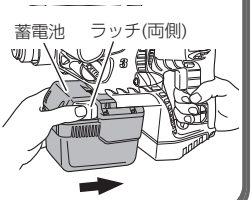


4 プッシュボタンを〔R〕側から押す

●打撃モードで作業する場合は、必ず正回転〔R〕側に切替えてください。(P14「回転方向の切替え方」参照)

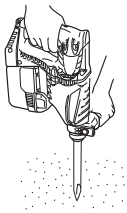
5 蓄電池を取付ける

●右図に示す向きで「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。

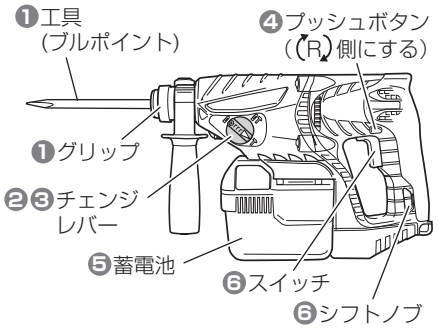


6 スイッチを入れる

●作業に応じてシフトノブをPOWER、SAVEに切替えてください。(P16「POWERモードとSAVEモードについて」参照)



●ハツリ・破砕する位置に工具先端を当ててからスイッチを入れます。



保守・点検

⚠警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●工具の点検

摩耗した工具をご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに研磨するか新品と交換してください。

●モーター部の取扱について

モーター（P 8「各部の名称」参照）の巻線は工具本体の重要な部分です。
巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 **ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。**
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

注
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
- 軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●グリースの交換

この機体はグリース密封構造となっていますので、ほこりの侵入を防ぎ、グリースは漏れない構造となっています。従って、長期間無給油で使用できます。しかし、機体を長持ちさせるために１年ごとにグリースの交換をしてください。

注 **機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。他のグリースを使用した場合、性能を著しく損なう恐れがありますので、必ずグリースの交換はお買い求めの販売店に依頼してください。**

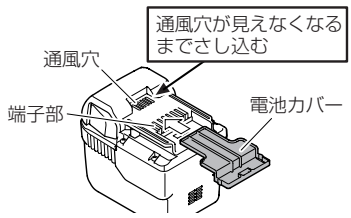
●蓄電池について

注 **長期間（３ヶ月以上）蓄電池を保管するときは、満充電にして保管してください。**
長期間、電池残量が少ない状態で保管すると、使用する際に充電できなくなる恐れがあります。

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- **収納ケース等に保管するときは、ケース内に導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。**
- **短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。**



ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00

●フリーダイヤル
0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

WEBにアクセス

右の QRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号（品川インターシティ A 棟）
営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

部品コード　C99159304 G